

# 福良湾海上花火大会



約1,500発!!

8/14 金

※荒天時中止

18:00 ~ 20:00 オープニングイベント  
(なないろ館前特設ステージにて盆踊り他)

20:00 ~ 20:30 花火打上  
(福良湾周辺)

【駐車場】 福良小学校、南淡中学校、文化体育館  
※シャトルバスで会場までピストン輸送します。  
福良小学校は、徒歩。

◎交通規制にご協力を!

会場周辺に交通規制区間を設けています。当日は、警備員の誘導に従ってください。詳しくは、8月上旬の新聞折込チラシと南あわじ市ホームページで案内します。

おおつなひき  
■大綱曳 14日(金) 14:00~16:30

江戸時代から続く大綱曳。東が勝てば豊作、西が勝てば大漁になるという。勝つのはどっち? 飛び入り参加可能。

●場所: 慈眼寺前、東西 500 m (駐車場は福良小学校)

■盆踊り(阿波踊り) 19:00~

約 30 余の連が街中を元気いっぱい回ります。

●場所: (東会場) 石川写真館~坂本食堂  
(西会場) 波止の浜 (駐車場は福良小学校)

☆12日(水)自治会連  
☆13日(木)各種団体連



やっとなさ~  
やっとなさ~

○お問い合わせ○ 同実行委員会(商工観光課内) ☎37-3012

『続三原郡史』

郡史の拾い読み 知っておきたい...

## 地名の由来

その2

阿那賀(あなが)

「穴賀」、「網長」



伊加利村の西、播磨灘に面し、大部分は、西淡丘陵。播磨灘に面して草香丸山と笠崎、鳴門海峡に突出する鳴門崎の三つの岬がある。鳴門崎は、背割りで、福良と相對する。笠崎古墳群、しだまる古墳群、沖の島古墳群など古墳時代後期の海に臨んだ古墳群が多い。全て海人族の遺跡である。「穴賀」、「網長」とも書かれた。地名の由来として諸説がある。(1) 湾入した港という意。(2) 崩壊地形説などあるが、いずれとも決めがたい。文安二年(1445)の「兵庫北関入船帳」によると、「あなが」船籍の船が見える。「正保国絵図」には阿那賀浦とみえる。

南部に伊毘という集落がある。そこは県道うずしおらから山が迫り、交通不便な漁村であった。その集落の西にあたる海上百メートルのところは沖の島がある。島全体が海人族の古墳群である。「いび(威部)」は、奄美・沖繩地方で、巫女たちが神祭りをする聖地であり、沖繩の村々にある御岳という聖地の中でも最も神聖な場所を示す言葉である。

第7編 各説 地名の改変  
三原郡の大字名と冠称の由来から抜粋

市内書店にて好評販売中!  
『続三原郡史』  
編集事務局  
市長公室 ☎43・5002

大井出河口に阿那賀港、